



子どもの森づくり通信

(発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

J P 子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2019年4月号)

〒146-0082 東京都大田区池上 1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
<http://www.kodomonono-mori.net> <mailto:info@kodomonono-mori.net>

「J P 子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

<今月の1枚>



新年度となりました。

今年度は、10周年を踏まえ、これからの10年の礎（いしずえ）づくりをテーマに
新しい取組みを提案してまいります。
よろしくお願い申し上げます。

(目次)

1. 「保育に役立つ 自然・環境体験講座全国キャラバン2019」参加園募集
2. 10周年記念『保育に役立つ自然・環境体験プログラム集』活用ガイド
3. 「東北復興グリーンウェイブ2019」植樹会のご案内
4. 事務局からのお知らせ / どんぐり博士の「育苗日記」(2019年4月号)

■「J P 子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「J P 子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の保育園・幼稚園・こども園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「J P 子どもの森づくり運動」運営体制

・運 営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）

・特別協賛 : 日本郵政グループ

・後援/協力

(公社) 全国私立保育園連盟

(公社) 国土緑化推進機構

(一社) 日本森林インストラクター協会

NPO法人MORIMORI ネットワーク

(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部

(公社) 大谷保育協会

NPO法人C・C・C 富良野自然塾

NPO法人自然体験活動推進協議会

(一社) 日本オート・キャンプ協会

保育環境研究所ギビングツリー



1. 「保育に役立つ 自然・環境体験講座全国キャラバン2019」参加園募集

J P 子どもの森づくり運動では、活動の活性化を目的に、10周年記念で作成され、皆様にお届けした「保育に役立つ自然・環境体験プログラム集」（以下、「プログラム集」と表記）を活用した「自然・環境体験講座全国キャラバン2019」を、下記の概要で開催します。間もなく参加園の募集を開始します。下記の内容をご確認の上、参加をご検討下さい。



ところで、自然・環境体験講座の募集にあたり、保育における自然・環境体験活動の意義について、体験講座のテキストでもある「プログラム集」に沿ってあらためて確認してみましょう。

「プログラム集」では、まず、プログラム監修をご担当いただいた**飯田女子短期大学 幼児教育学科 田中住幸准教授**からは、以下の二つの意義が指摘されています。

1) 海洋生物学者「レイチェルカーソン」の『知ることは、感じることの半分も重要ではない』の言葉に象徴されるように、幼児（少）期の子どもたちは、体感的な自然遊びの中で子ども本来の感性を育むこと。

2) もう一つは、どこで暮らしていようと地球上の資源やエネルギーなど、自然資源を活用していかないといけない未来を生きる子どもたちに、その自然は、「未来の世代」「違う場所で暮らす人々」「他の生き物」と共有するものであることを忘れない、持続可能な社会づくりの基盤となる「環境の心」を育むこと。

3) さらに、**長野県池田町教育長の竹内延彦氏**からは、幼児（少）期の自然・環境体験では、持続可能な社会を生きる子どもにとって、もっとも重要な資質である「**非認知的能力**」が育まれることの意義が指摘されています。そして、それらの活動意義を実現することこそ、J P 子どもの森づくり運動が目指すことです。（詳細は、「プログラム集」をご覧ください。）

ただし、どのような意義も、行動として実践されなければ実現できません。今年度開催される「保育に役立つ 自然・環境体験講座全国キャラバン」では、参加園におけるより良き体験活動を実践するためのお手伝いをさせていただきます。幼児（少）期の自然体験活動の機運が世界的に高まっている今がチャンス。この機会に是非、キャラバンへのご参加をご検討下さい。2019年度中の開催回数に限りがありますので、ご希望の方はお早目にどうぞ。

< J P 子どもの森づくり運動「自然・環境体験講座全国キャラバン2019」開催概要 >

1) 開催期間	2019年9月～2020年3月	◎インストラクター・プロフィール 【塚原 茂】 子森ネット事務局長 チームビルディングファシリテーター ネイチャーゲームインストラクター 
2) 主催/共催	実施園 / 子森ネット	
3) 特別協賛	日本郵政グループ	
4) 開催内容	「プログラム集」を活用した、保育で実践できる自然・環境体験講座。詳細は、相談の上決定。	
5) 開催場所	主催園の園内、園外、いずれでも開催可。 “どんぐり”を拾う活動、苗木を育てる活動、“どんぐり”を植える活動との併催をおすすめします。	
6) 開催費用	インストラクター出講費（交通費含む）事務局負担。	
7) 参加申し込み	事務局（子森ネット）までお申し込み（お問合せ）下さい。	
8) 申し込み期間	2019年5月7日～6月末日（第一次申し込み期間）	

* 詳細は、お申込みいただいた際にご案内申し上げます。

* お申込みは先着順となっております。お申込み多数の場合は、次年度開催とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

2. 10周年記念「保育に役立つ自然・環境体験プログラム集」活用ガイド

参加園にお届けした「プログラム集」は、おかげ様で保育関係者の中で好評をいただいております。内容は、分かりやすく編集されておりますので、ご覧いただければご理解いただけると思いますが、蛇足的なガイドとして、以下に特徴的な項目を例示させていただきました。ご参照下さい。

1) 【巻頭カラー特集】J P 子どもの森づくり運動10周年記念倉本聡氏特別対談

J P 子どもの森づくり運動の基本理念を共に構築していただいた「富良野自然塾」塾長の脚本家倉本聡氏の自然に対する想いについて、子森ネットの理事がお話しをお伺いしました。子どもの自然・環境体験の意味について得難い指針をいただきました。ご一読下さい。



2) 【プログラム集】自然・環境体験プログラム集

飯田女子短期大学の田中先生によって厳選されたプログラムです。さらに有志園にてトライル（シミュレーション）活動を実施し、保育者としての感想も掲載しております。プログラムは、春、夏、秋、冬編、さらに室内編に分類されています。



3) 【事例集】参加園による自然・環境体験事例集

参加園さんによる先進的な、でも大いに参考になる体験活動を紹介しました。

- ・京都市「たかつかさ保育園」蚕の保育
- ・福井県「大野幼稚園」野外キャンブ
- ・東京都「東京ゆりかご幼稚園」園のシンボルツリーで遊ぶ



3. 「東北復興グリーンウェイブ2019」植樹会のご案内

「東北復興グリーンウェイブ2019」の植樹会の開催概要が固まりましたのでご案内します。今年は、5月22日「グリーンウェイブ」の日に、岩手県宮古市と山田町、福島県伊達市の三か所での同時開催となります。東北では植樹会の準備が整い、全国から届く“どんぐり”の苗木を待っています。

開催日時	実施園	主な内容 / 会場
5月22日(水)10:00	岩手県山田町保育園合同	岩手県山田町豊間根の「苗畑」 及び、「山田町新生商店街」に植樹
5月22日(水)10:00	福島県伊達市「伊達こども園」	岩手県山田町の苗畑から 6本の苗木が「伊達こども園」の園庭に 植え替えられます。
5月22日(水)13:00	岩手県宮古市 「あかまえこども園」（旧「赤前保育園」） 「津軽石保育所」 宮古市内保育関係者	「あかまえこども園」園庭への植樹 （岩手県宮古市「赤前保育園」）

* 東北の“どんぐり”の苗木を送る際には、是非、「見送る会」を開催して、子どもたちや保護者に「東北復興グリーンウェイブの」活動の意味についてお話ししてして下さい。その際の説明資料としては、お届けした「自然・環境体験プログラム集」をご活用下さい。「見送る会」の開催情報（アンケート）もお送り下さい。

2. 事務局からのお知らせ

第29回森の感謝祭「みどりとふれあうフェスティバル」+ J P 子どもの森づくり運動 コラボ企画

【くまモンと踊ろう！♪どんぐりえがおダンス】のご案内

5月11(土)に、日比谷公園を舞台に、子どもから大人まで、“森の恵み”と“木の温もり”を五感でふれあい、楽しめる「みどりとふれあうフェスティバル」を実施します。J P 子どもの森づくり運動では同イベントに今年も参加し、「東北復興グリーンウェイ」のアンバサダー“どんぐり〜ず”が、ゆるキャラたちと一緒にステージで「♪どんぐりえがお」ダンスを踊ります。森づくりをテーマにしたトークショーや、東京の「中目黒駅前保育園」の子どもたちが育てた東北の“どんぐり”の苗木のお披露目会も行なわれます。会場では様々な自然体験講座も用意され、親子で1日楽しめます。お誘いあわせの上、ご来場下さい。

* 日時：2019年5月11日(土)11:00～12:15 * 会場：日比谷公園「にれのき広場」(参加費無料)

* 「みどりとふれあうフェスティバル」の詳細は、ホームページをご覧ください。⇒ <http://midorinokanshasai.com/>

▼ 11日(土)

11:00 ～ 11:30	くまモン&くんまちゃん等のゆるキャラも大集合！ 森で遊び・学び・癒される「Forest Style」をはじめよう！ くまモン・くんまちゃん・なめこ等のゆるキャラやアーティストがやってくる！各キャラが歌って踊って楽しみながら、ふるさとの魅力や、「クイズラリー」のヒントや素敵な景品等を紹介しします。	 くまモン くんまちゃん なめこ どんぐり〜ず
11:45 ～ 12:15	アースデイいのちの森 × J P 子どもの森づくり運動トークショー 「100年先に、緑の環をつないでいこう」 Supported by アースデイいのちの森実行委員会、J P 子どもの森づくり運動ネットワーク 「グリーンウェイ」オフィシャル・パートナーの2団体が、どんぐりを拾い、育て、木を植えることを通して、次世代を担う子どもたちに伝えたいこと、100年先に、緑の環をつないでいくことへの想いを語り合います。	  高橋 健二 野中 ともや どんぐり〜ず



昨年の開催風景

●どんぐり博士の育苗日記(2019年4月号) ～新緑とヤマザクラ～

どんぐりが発芽し、里山は新緑に染まる。子どもの森づくり運動の活動に携わるものには最高の季節ですね。
各園のどんぐりや苗はいかがですか？

子森ネット|どんぐり博士：河内和男（森林インストラクター）



季節が冬から春に変わっても、天候は相変わらず安定せず、しまいかけた冬物を引っ張り出して着用することを何度も繰り返す4月でした。そんなはっきりしない季節の流れの中でも、植物たちの暦は、着実に春を深めています。晴れた日に車を運転していると、道沿いに広がる里山の木々の新緑が次々と目に飛び込んで来ます。本当に気持ちの良い季節となりました。

そんな新緑の萌葱色（もえぎいろ）に彩りを添えているのが、ヤマザクラの薄いピンク色です。ヤマザクラの花の色は、ほとんど白に近い色なのですが、萌葱色の中では、ちゃんとピンク色に見えるから不思議です。おそらく、緑色の反対色（補色）である赤色が強調されるからだと思います。

そんな里山の風景を眺めていて、子どもの森づくり運動の活動で植樹された森にも、ヤマザクラが彩りを添えてくれたらいいなあと想像してしまいました。そこで、本やネットで調べてみたら、ヤマザクラは種から育てることが可能なようです。ソメイヨシノなどの園芸種は接ぎ木などで苗作りをしますが、それは品種改良された性質を保った苗を育てるためです。しかし、野生種の子ヤマザクラはそんな心配はいりません。

種はもちろんサクラの実（サクラノボ）から採取します。採取時期は実が紫色に熟す、5月末から6月だそうです。山桜は大木なので採取は大変そうですが、挑戦してみたいと思います。興味が沸いてきたら皆さんも、少し調べて挑戦してみませんか。